

## 平成28年度 「大阪市中学校3年生統一テスト」における 市岡中学校の結果の分析について

大阪市による「大阪市中学校3年生統一テスト」について、平成28年10月6日（木）に、第3学年を対象として実施しました。

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様に説明責任を果たすことが重要であると考え、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校がテスト結果やテスト結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、テスト結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

### 1 テストの目的

- （１）テスト結果を個々の生徒の評定（内申点）に活用し、平成29年度大阪府公立高等学校入学者選抜における調査書に記載する評定の公平性、信頼性を確保する。
- （２）学校が生徒一人ひとりの学力を的確に把握し、学習指導の改善及び進路指導に活用する。

### 2 テストの対象

- ・ 原則として、大阪市立中学校の第3学年
- ・ 市岡中学校では、第3学年149名

### 3 テストの内容

- ・ 国語、社会、数学、理科及び英語の5教科

# 平成28年度「大阪市中中学校3年生統一テスト」検証シート

実施日 平成28年10月6日(木)

学校名	大阪市内市岡中学校
-----	-----------

生徒数(人)	149
--------	-----

## 平均正答率(点)

	国語	社会	数学	理科	英語
学校	66.3	58.2	55.6	52.8	59.6
大阪市	65.4	54.4	56.0	55.0	61.2

## 結果の概要

「国語」「社会」については、大阪市平均点を上回り「国語」は0.9ポイント、「社会」は3.8ポイント上回る結果であった。一方、残り3教科については、いずれも大阪市平均点を下回る結果であった。「数学」については、0.4ポイント大阪市平均点を下回る結果であったが、ほぼ平均点と同水準であった。「英語」については1.6ポイント、「理科」については2.2ポイント下回る結果であった。

## 成果と今後取り組むべき課題

昨年度1月実施のチャレンジテスト(2年次)の結果を受け、全教科で学力アップを目指し習熟度別授業やTT授業、放課後補習授業などに取り組んできた。10か月間の学習の成果として、今回のテスト結果では全教科において平均点がアップし、ほぼ大阪市平均点レベルに達するなど一定の成果を上げる事が出来た。

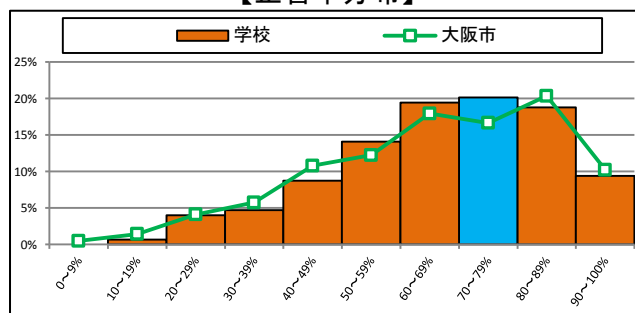
特に理科においては、大阪市平均点を2点以上下回っているものの、これまで50%台レベル以下に正答率分布の割合が集中していたが、今回は50%台や70%台で大阪市平均を上回るなど着実に成果をあげている。また英語においては、大阪市平均点と2点近く下回り、正答率分布でもこれまでと同様の「2コブラクダ」を示していたが、これまでのグラフと異なり全体的に中心が高得点帯に「横ズレ」しており、50%以上の得点率を占める生徒の割合も増加している。

しかしながら、英語や数学、理科の正答率20%台以下の生徒達の割合がまだまだ多く、一方で高得点帯の生徒の割合も少ないことは今後の課題であり、今後改善を図る指標としなければならない。

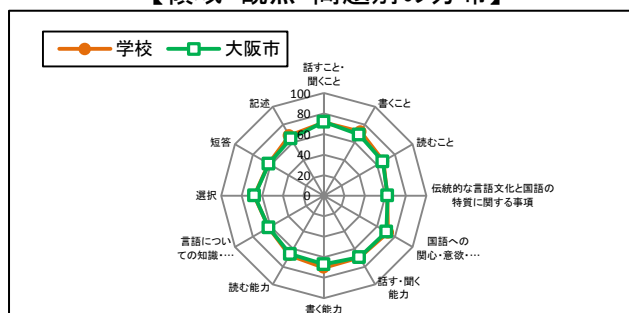
# 【各教科の正答率分布と領域・観点・問題形式別平均正答率の分布】

## 【国語】

【正答率分布】

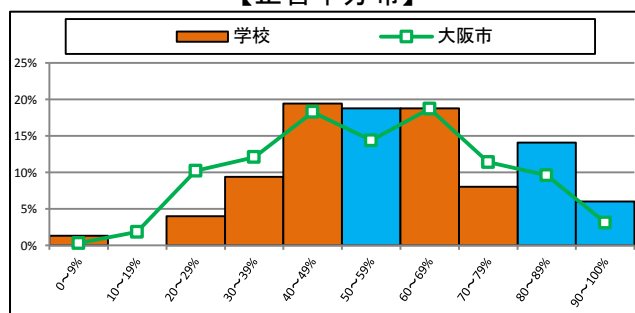


【領域・観点・問題別の分布】



## 【社会】

【正答率分布】

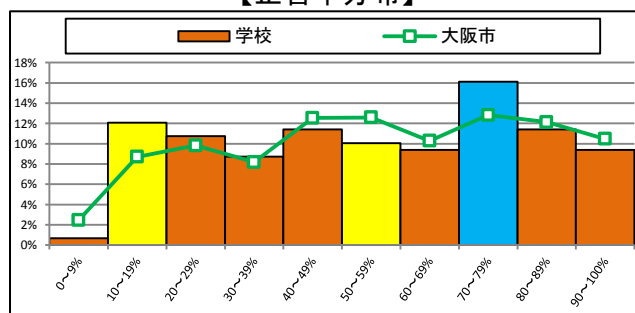


【領域・観点・問題別の分布】

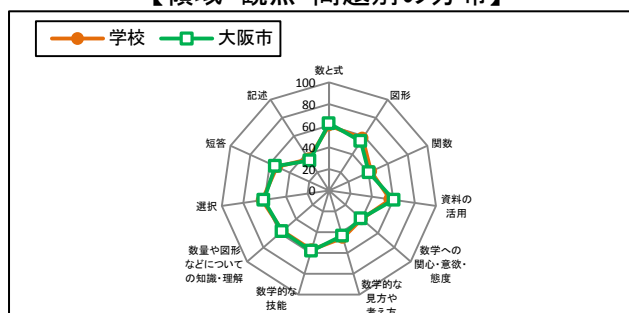


## 【数学】

【正答率分布】

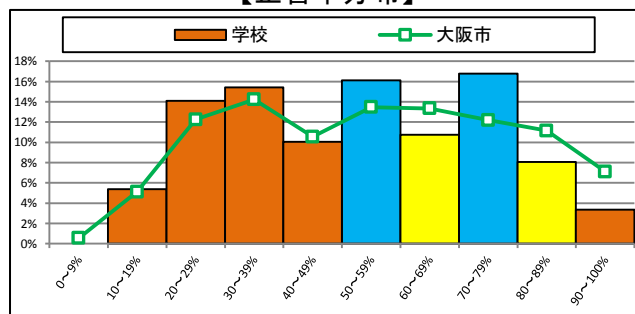


【領域・観点・問題別の分布】

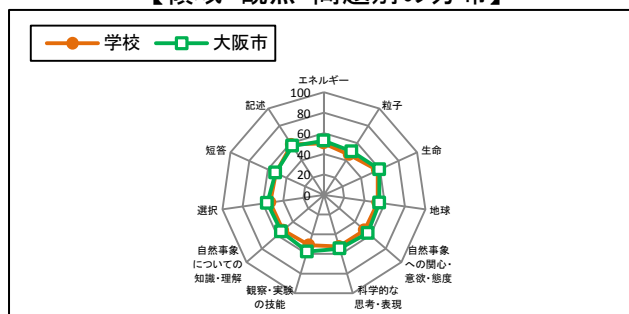


## 【理科】

【正答率分布】

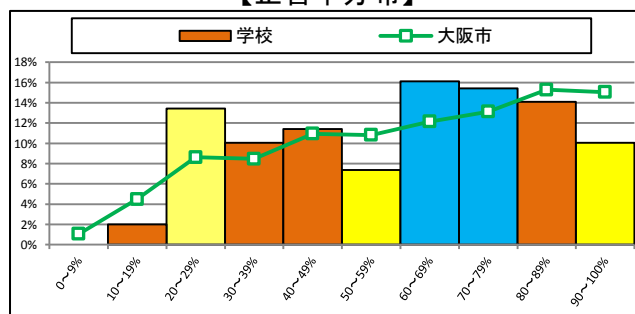


【領域・観点・問題別の分布】



## 【英語】

【正答率分布】



【領域・観点・問題別の分布】

